

# 市数研だより

令和2年11月6日発行 NO. 1 熊本市中学校数学教育研究会

今年度初めての定例会が10月29日(木)に行われました。新型コロナウイルスの影響で今回は三和中学校からZOOMを使って配信するという形で実施しました。初めての試みでしたが、資料をTeamsで送付するなどできる限りの工夫をしました。

## 1. あいさつ

市数研会長 (三和中学校 出崎校長先生)

新型コロナウイルスの感染拡大の予防のために、各学校は教育活動にさまざまな制限を受けていることだと思います。それでも学校が再開され、子どもたちの明るい表情を見るたびに学校の存在意義や教職員のすばらしさを強く感じています。11月20日に白川中学校で県大会を開催する予定でしたが、1年間延期することとなりました。これまで取り組んできた研究テーマはそのまま継続しま



すが、開催の方法は改めて検討していくことになるだろうと思います。日々状況が変化していきませんが、先生方と知恵を出し合いながら最善の策を探し続け、県大会を開催できればと願っています。

熊本市には1人1台のタブレットが導入され、数学の授業の在り方も変わっていくことが求められます。私たち教師の心構えが大事になると思います。数学を学ぶ楽しさを子どもたちが実感できるように、実践研究に取り組んでいきましょう。

## 2. 来年度県大会の研究テーマについて 研究部長 (東部中学校 柳邊先生)

### 令和3年度 研究主題

**「数学的な見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう生徒の育成」**

研究テーマに基づいた、目指す授業の視点が3つ示されました。

主体的…生徒が全力で立ち向かう

対話的…真剣に議論し合う

深い学び…熟考し変容する

「深い学び」に向けた授業改善についてさらに詳しく提示されました。



- 本時で重視する見方・考え方を明確にし、指導目標を設定する
- 多様な見方・考え方を働かせることができるような課題を設定する
- 子どもたちの自力解決や学び合いの場を設定し、思考・判断・表現させる場を意図的に位置付け、関連させながら指導する
- 子どもたちが働かせた数学的な見方・考え方に着目したり、確認したりする場面を設定し、自分の考えを形成する場面を設定する。

今後の事前研では、「働かせる見方・考え方は何か、生徒はどんなことを言っていたか、目指す生徒の姿は何か」を考えていくことが必要になります。

### 3. まとめ

#### ◎教育センター 武田先生より

授業づくり支援室で活動するなかで、授業改善に向けた3つのポイントの話をしています。①めあての改善 ②振り返りの改善 ③どんな対話(アウトプット)をさせるか の3つです。アウトプットしたものが子どもどうして磨き上げられて、さらに深くなっていくと思います。県大会の研究テーマとも関連する部分があり、とてもためになりました。



#### ◎熊本大学 吉村先生より

授業づくりにおいて、どのようなしかけをして場面設定をしたのかを各部会で話し合う必要があると思います。県大会でそれぞれの部会が場面設定の工夫を提案できれば、参加された先生が「自分もやってみよう」というふうにつながっていくと思います。



#### ◎市数研副会長 錦ヶ丘中学校 田口校長先生

研究主題の説明を聞きながら、数学的な見方をするという「数学のメガネ」について考えました。研究を通して、「数学のメガネ」はどんなメガネなのかがしっかりと見えてくるようなものになればいいなと思います。



また、コロナ禍の中でZOOMを使って定例会ができたことに意義があると思います。昨年度まで研究してきたことは決して無駄にならず、それを土台に今年度の研究を積み上げていければと思います。熊本市の生徒たちにぜひとも「数学のメガネ」をかけさせていきたいなと思っています。今だからできることに取り組んでいきましょう。

5. お知らせ

次回の定例会は、

**11月19日(木)19時～ 三和中学校**

**Zoomでのライブ配信も行います。**

また改めてご連絡いたします。

**12月の研修会は、本年度は中止します。**

今後、各ブロックで事前研をする場合は飽田中学校の越地先生までご連絡ください。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

shiiba.masahiro@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から**1名以上の参加**をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 錦ヶ丘中学校 椎葉 将大